



松山から全国に

「マツダオールスターゲーム2012」第2戦が7月21日、坊っちゃんスタジアム（市坪西町）で開催され、夢の球宴を目にしようと集まった約2万5,000人のファンで、スタジアムは満員となりました。試合の様子はテレビやパブリック・ビューイングなどでも発信され、全国のファンはスター選手のプレーや奮闘に勇気づけられ、元気と笑顔をもらいました。オールスターゲームの本市での開催は2002年以来2度目で、地方球場では初。



野球王国・松山で歓喜再び



伊藤紘輝くんの始球式でプレーボール



ビッグフラッグの入場



野球俳句最優秀賞の谷廣子さんを表彰



5回裏終了後に野球拳おどりを披露



選手紹介・入場



熱の入った応援を繰り広げる観客

元木さんのコーチングはとも分かります。これらの野球に生かそうです。



村尾 幸哉くん (権現町)

チャレンジの声



少年野球クリニック



元木大介さんの特別野球教室

7月21日限定でマドンナスタジアムに開園した「の・ボールパーク」では、野球ファンや親子連れらがスピードガンコンテストや盗塁にチャレンジするなど、野球の楽しさを満喫しました。

の・ボールパークで野球の楽しさ体感

バッティングをやってみると、バットにボールが当たった時の感覚がポヨンとしていて楽しかったです。



松平 柳奈香さん(中央) (畑寺一丁目)



特設ビジョンでパブリックビューイング



表彰式の記念撮影体験



盗塁にチャレンジ

元気と笑顔を発信



オールスターゲーム 第2戦の試合結果

全セ 4 - 0 全パ

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
全パ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
全セ	1	0	2	0	0	1	0	0	X			4	10

開始18時02分、試合時間 2時間27分、入場者25,612人

勝前田健 (広島) 敗成瀬 (ロッテ) ▶本塁打坂本 (巨人)

表彰選手 最優秀選手前田健太 (広島)、敢闘選手賞坂本勇人 (巨人)、野村祐輔 (広島)、明石健志 (ソフトバンク)

かつびトーク

5

待ちに待ったプロ野球オールスターゲームが坊っちゃんスタジアムで開催されました。地方球場では史上初となる2回目の今開催は、市民の皆さんの野球熱の高さと、野球殿堂入りした正岡子規さん、千葉茂さんら郷土が輩出した野球関係者の情熱が結実したもので、まさに「全国に誇れる宝」です。

当日は隣接するマドンナスタジアムで、元プロ野球選手らによる特別野球教室やバッティング・盗塁体験、スピードガンでの球速測定など各種の体感アトラク

松山市長 野志 克仁



左から田中美由紀さん、川本友里恵さん (広島県)

堂林選手のホームランと、前田投手の奪三振に期待して来ました。坊っちゃんスタジアムは大きく、観客の熱気もすごくて驚きました。

観客の声



左から小池青空くん、秀則さん (藤原町)

10年ぶりにオールスターが松山に来るということで、子どもと一緒に見にきました。有名選手のプレーが身近に見られてよかったです。

俳句ボールで被災地と夢のキャッチボール

松山ならではの震災復興を支援しようと、市内の小中学生が野球にちなんだ自作の俳句やメッセージを第2戦の公式球に書き込んだ「俳句ボール」が、岩手県盛岡市で開催の第3戦に招待された同県の小・中・高校生約3000人に7月23日、プレゼントされました。

第3戦の試合前に、プレゼントに訪れた安田結月さん(余土小6年)と永井魁くん(石井小6年)から、岩手県代表の戸羽樹くんと大谷一真くんは俳句ボールが渡されると、会場からは大きな拍手が送られました。



▼約1万4000人の観客らを前に復興を願うキャッチボール

▲左から永井くん、安田さん、戸羽くん、大谷くんががちり握手

お問い合わせは、スポーツ振興課 ☎948 6822・FAX 934 1287へ

汗たらし 野球見て見ている人も

被災地の人に私のメッセージを読んで、元気になってほしいです。



奥平 朱音さん (余土小4年)



「岩手に届け」とエールを送る余土小の子どもたち